

4. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成26年6月)

建設業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は37、今回調査の「最近」は33、「先行き」は28となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、4ポイント悪化しており、「先行き」は5ポイント悪化となる見込み。

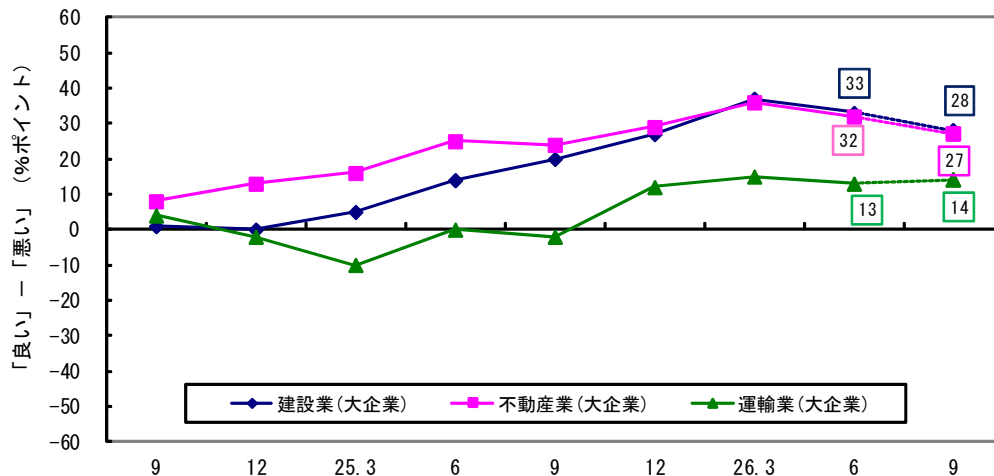
不動産業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は36、今回調査の「最近」は32、「先行き」は27となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、4ポイント悪化しており、「先行き」は5ポイント悪化となる見込み。

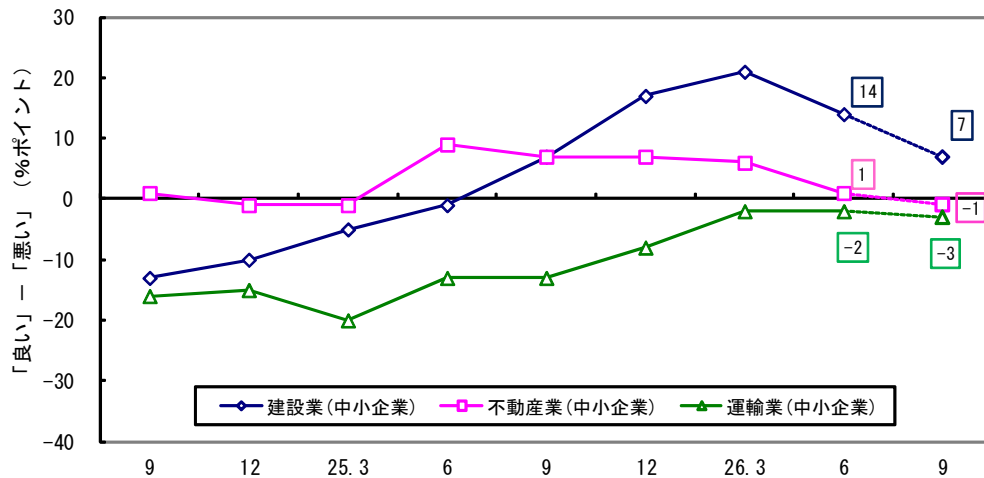
運輸業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は15、今回調査の「最近」は13、「先行き」は14となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、2ポイント悪化しており、「先行き」は1ポイント改善となる見込み。

各業種の業況判断DI(大企業)



各業種の業況判断DI(中小企業)



資料：日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

注) 大企業は資本金10億円以上、中小企業は同2千万円以上1億円未満の企業。

点線は3ヶ月先までの予測値。

(2) 雇用情勢

① 就業者数等（7月調査・速報）

建設業就業者数は491万人で前年同月比4.0%増加であった。雇用者数は395万人で前年同月比1.3%増加、うち常雇は前年同月比1.9%増加、臨時雇及び日雇は前年と同水準となった。

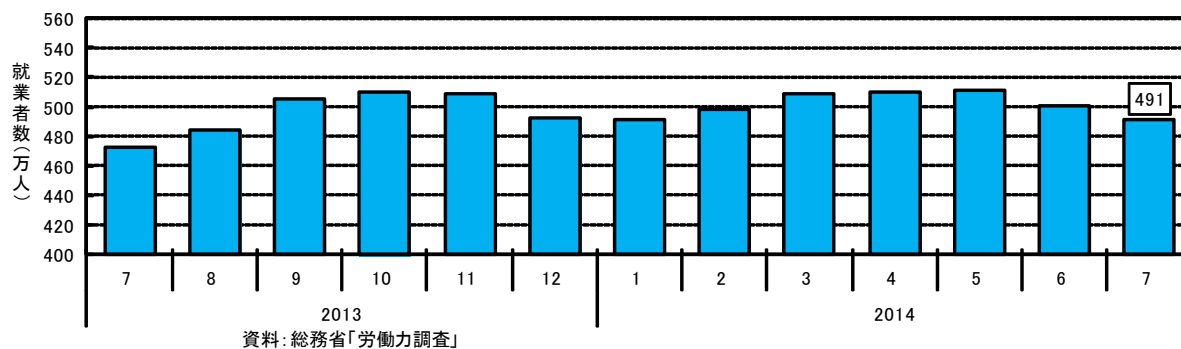
運輸業就業者数は330万人で前年同月比6.1%増加、雇用者数は316万人で同6.4%増加となった。

② 労働の状況（6月調査・確報）

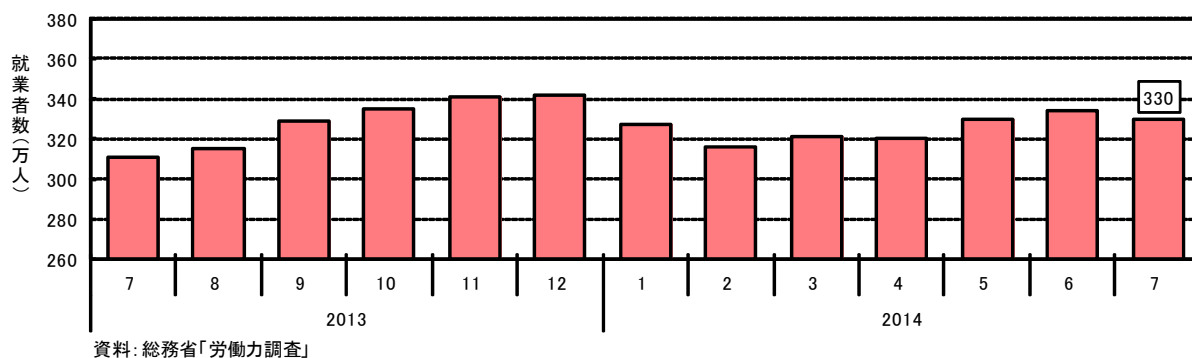
建設業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与。以下同じ。）は前年同月比1.7%増加（4ヶ月連続）、総実労働時間指数は同2.0%増加（8ヶ月連続）、所定外労働時間指数は同3.3%増加（13ヶ月連続）となった。

運輸業・郵便業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数は前年同月比0.5%減少（3ヶ月連続）、総実労働時間指数は同0.7%増加（3ヶ月ぶり）、所定外労働時間指数は同10.4%増加（12ヶ月連続）となった。

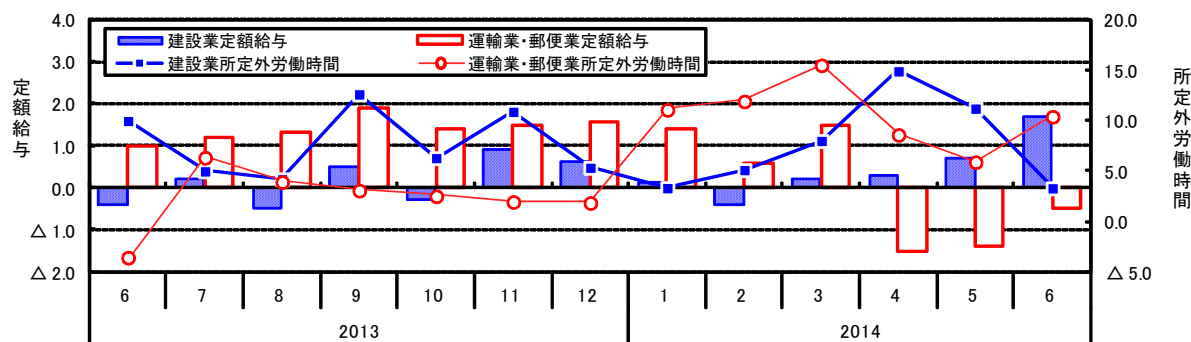
建設業就業者数の推移



運輸業就業者数の推移



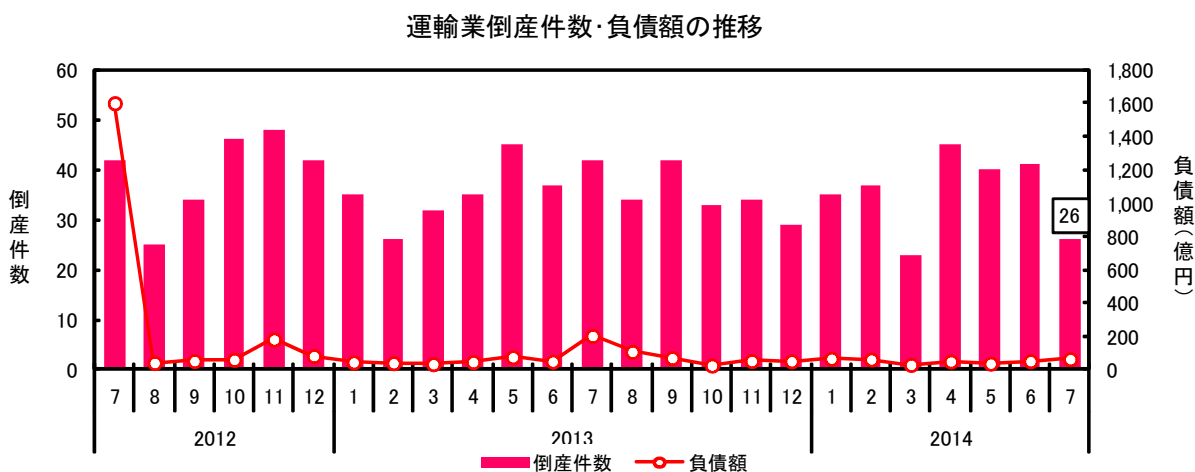
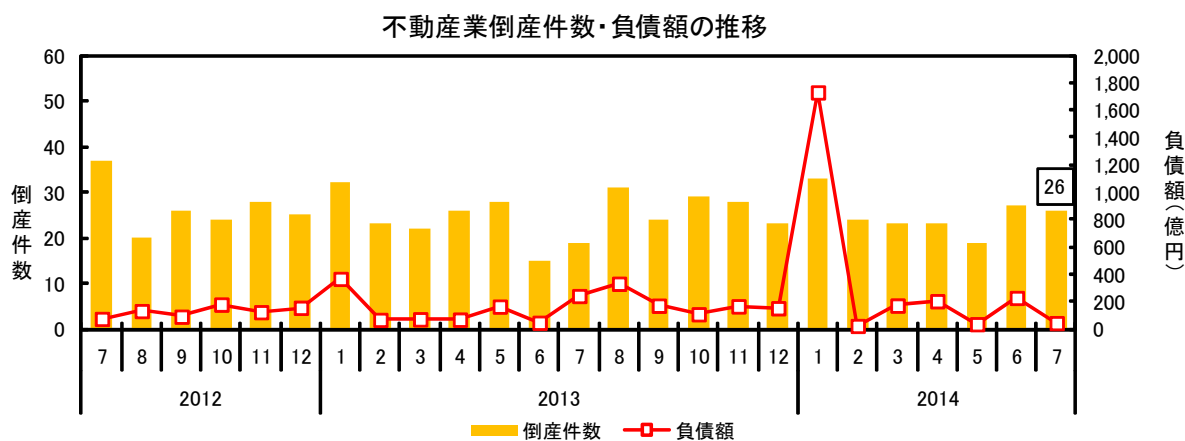
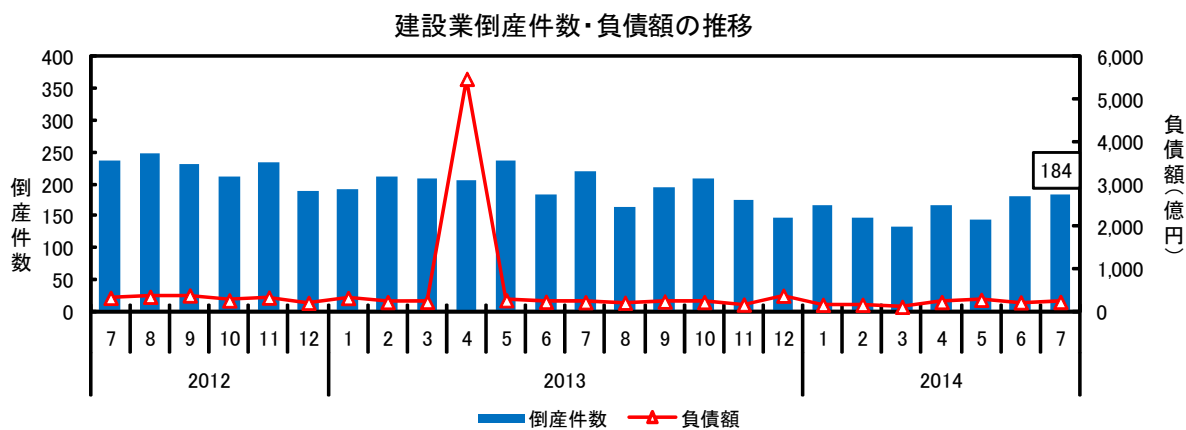
労働の状況（前年同月比・%）



(3) 倒産

7月の全産業の倒産件数は844件で、前月比0.4%減少（前年同月比11.3%減少）となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は184件、不動産業の倒産件数は26件、運輸業の倒産件数は26件であった。



資料：帝国データバンク「全国企業倒産集計」

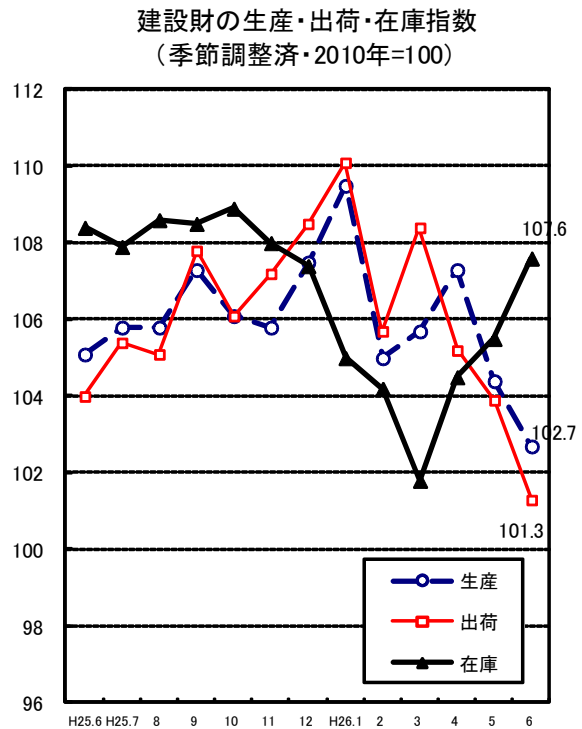
(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数（6月確報、季調済）は102.7（平成22年=100）で前月比1.6%減少（2ヶ月連続）、出荷指数は101.3で同2.5%減少（3ヶ月連続）、在庫指数は107.6で同2.0%増加（3ヶ月連続）となった。

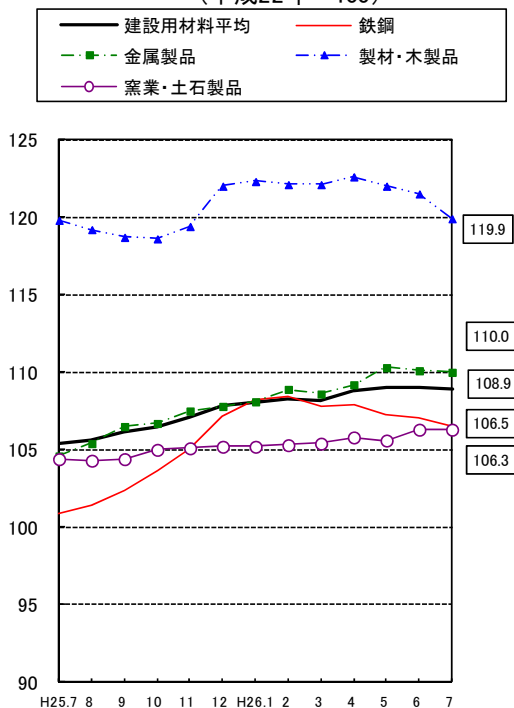
建設用材料（中間財）の企業物価指数（7月速報）は108.9（平成22年=100）で、前月比0.1%減少となった。

建設財の生産・出荷・在庫 (季節調整済前月比・%)				
	生産	出荷	在庫	
建設財	▲ 1.6	▲ 2.5	2.0	
6月確報値	鉄鋼	6.8	1.2	3.1
	金属製品	▲ 1.0	▲ 2.3	4.3
	窯業・土石製品	▲ 3.3	▲ 4.1	1.1
	その他工業	▲ 2.4	▲ 4.0	2.4
建設財 (前年同月比)	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.7	
(参考) 鉱工業	▲ 3.4	▲ 1.9	2.0	
(参考) 鉱工業 (前年同月比)	3.1	2.2	2.8	

資料：経済産業省「生産・出荷・在庫指数」
注）その他工業とは、繊維板・パーティクルボード、製材、普通合板、特殊合板、システムキッチン、流し・ガス・調理台を指す。



中間財 建設用材料 企業物価指数
(平成22年=100)



資料：日本銀行「企業物価指数」

(5) 一般経済指標の概況

主要経済指標

	実質消費支出	(大型小売店販売額)	(資材輸出機械)	(船舶・電力を除く民需)	(輸送額)	(輸送額)	生産工業	企業倒産	完全失業率	有効求人倍率	(きまって支給する給与)	物価指数	(消費者物価指数)	日経平均	(マネーストック)	東名高速道路全線平均
	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季・%)	(季・倍)	(季)前年同季比	(季)前年同季比	(季)前年同季比	期末値(円)	(季)前年同季比	(季)前年同季比
2010年度	0.3	▲2.0	22.2	9.1	14.9	16.0	8.8	▲10.6	5.0	0.6	0.2	0.4	▲0.9	9755.1	2.7	6.3
2011年度	▲2.2	▲0.9	6.7	6.2	▲3.7	11.6	▲0.7	▲0.5	4.5	0.7	▲0.3	1.3	0.0	10083.6	2.9	1.9
2012年度	1.1	▲1.4	▲6.0	▲3.0	▲2.1	3.4	▲2.9	▲6.3	4.3	0.8	▲0.3	▲1.0	▲0.2	12397.9	2.5	▲32.5
2013年6月	▲1.4	3.5	▲2.3	▲1.0	7.4	11.7	▲2.8	1.1	3.9	0.9	▲0.5	1.2	0.4	13677.3	3.8	▲1.4
7月	0.5	▲1.6	3.0	0.3	12.2	19.7	2.7	1.0	3.9	0.9	▲0.7	2.2	0.7	13668.3	3.7	4.2
8月	▲0.1	▲0.1	▲0.6	5.1	14.6	16.2	▲0.5	▲7.3	4.1	0.9	▲0.4	2.3	0.8	13388.9	3.8	0.5
9月	1.0	0.7	▲0.8	▲1.1	11.4	16.7	1.5	▲4.1	4.0	1.0	▲0.4	2.2	0.7	14455.8	3.9	1.5
10月	0.3	▲0.1	6.7	0.9	18.6	26.3	0.6	▲4.5	4.0	1.0	▲0.3	2.5	0.9	14327.9	4.1	4.3
11月	▲0.2	0.6	▲1.6	6.5	18.4	21.2	0.3	▲12.6	3.9	1.0	▲0.1	2.6	1.2	15661.9	4.4	3.0
12月	▲0.4	0.2	▲0.1	▲12.1	15.3	24.8	0.5	▲11.9	3.7	1.0	▲0.2	2.5	1.3	16291.3	4.2	▲0.5
2014年1月	1.6	0.0	14.3	8.1	9.5	25.7	3.9	▲5.3	3.7	1.0	0.1	2.4	1.3	14914.5	4.3	7.4
2月	▲1.5	1.3	▲4.8	▲4.6	9.8	9.0	▲2.3	▲10.8	3.6	1.1	▲0.1	1.8	1.3	14841.1	4.0	8.4
3月	10.8	16.1	2.2	19.1	1.8	18.2	0.7	▲11.0	3.6	1.1	0.2	1.7	1.3	14827.8	3.6	7.8
4月	▲13.3	▲6.7	▲6.9	▲9.1	5.7	3.4	▲2.8	▲5.3	3.6	1.1	0.2	4.2	3.2	14304.1	3.5	▲0.2
5月	▲3.1	▲1.2	▲1.5	▲19.5	▲2.7	▲3.5	0.7	▲22.8	3.5	1.1	0.4	4.4	3.4	14632.4	3.3	▲2.6
6月	1.5	▲1.8	▲0.1	8.8	▲1.9	8.4	▲3.4	▲6.5	3.7	1.1	0.4	4.6	3.3	15162.1	4.3	▲2.2

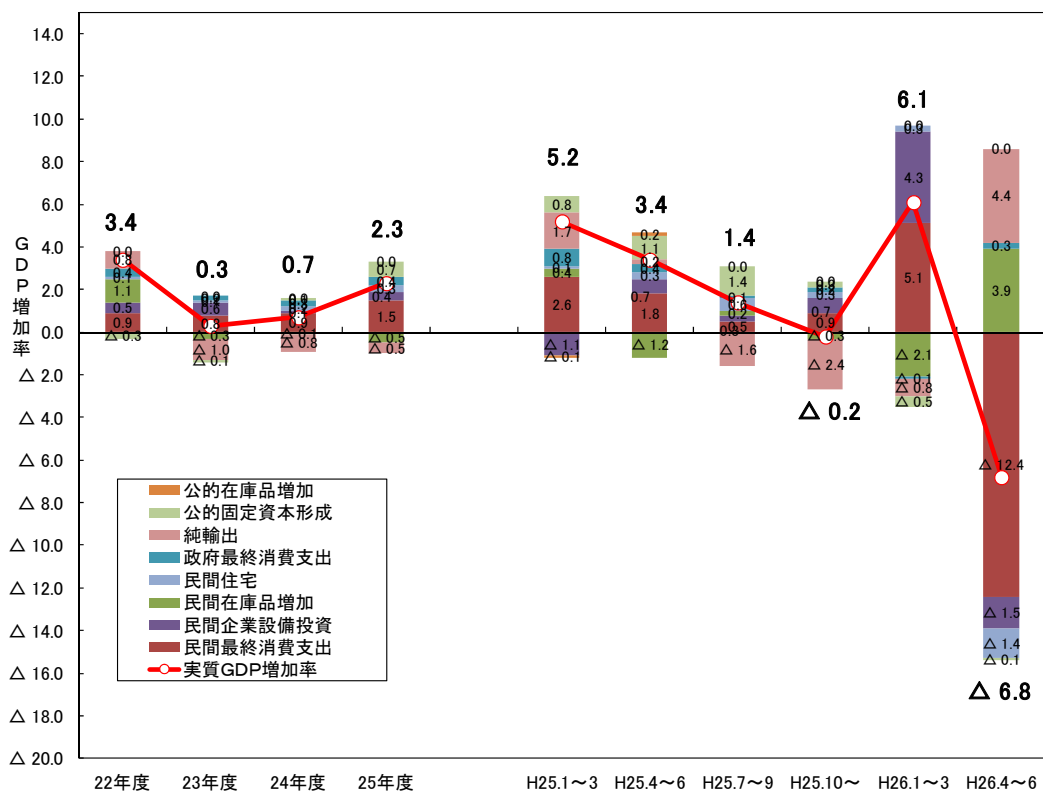
注) Pは速報値(輸出及び輸入については、イタリック体は確報値、それ以外の数値は確定値)。

注) 実質消費支出の年度値は、公表値の年単位を表示。

資料: 総務省「家計調査」「労働力調査」「消費者物価指数」、経済産業省「商業販売統計」「生産・出荷・在庫指数」、内閣府「機械受注統計」、財務省「貿易統計」、

帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」「毎月勤労統計調査」、日本銀行「企業物価指数」「マネーストック」、日本経済新聞、中日本高速道路(株)

GDP増加率と寄与度(前期比、実質)



資料: 内閣府「四半期別GDP速報」

注) 項目別の寄与度には、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成のほかに、民間最終消費支出、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的在庫品増加、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増加率となる。

注) 四半期別のデータは年率換算値